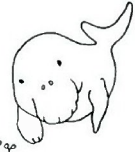

ジュゴン Vol.80

ちゃんぷるニュース

SDCC 2015. 5. 26
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS



- 2/3 情勢：埋立をめぐる動き
- 沖縄県交渉報告
- 4/5 5. 17 沖縄県民大会
- 首都圏・関西アクション
- 6/7 コラム「咲け、月桃の花」
- ジュゴンでトレイン
- 8 お知らせ

4月28日、安倍首相はオバマ米大統領とホワイトハウスで会談し、米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設の推進を確認しました。安倍首相は「普天間の危険性を辺野古移設で除去する。沖縄の基地負担の軽減を強い信頼関係の下で進めていく」と述べ、辺野古移設を推進する考えを強調しました。また日米両政府は、安全保障協議委員会（2プラス2）を開き、「普天間の継続的な使用を回避するための唯一の解決策」辺野古移設を推進していく内容の共同文書を発表しました。沖縄県民の民意を無視し、「どう考えても、辺野古移設が唯一の解決策」となりふり構わず強行しようとしています。

～全国でのうねりへ～

このような政府の強硬姿勢に対し、辺野古移設を許さない運動が着々と大きくなっています。米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古への新基地建設阻止を目的とした「辺野古基金」の共同代表に、映画監督の宮崎駿氏とジャーナリストの鳥越俊太郎氏が就任することが発表されました。基金も1億4千万円を超え支援と期待が広がっています。

沖縄では5月17日、翁長知事も参加する県民大会が数万人規模で開催されます。オール沖縄の運動は、着実に大きなうねりとなって辺野古移設反対の運動が全国に広がっています。この運動に応え、各地で辺野古移設反対のキャンペーンを具体化していきましょう！

東京では5月24日（日）に、「5・24 首都圏アクション 国会包囲ヒューマンチェーン」が開催されます。そして翌25日（月）には、首相官邸前でヒューマンチェーンのアピールを政府・国会に届けます。大阪でも「国会包囲ヒューマンチェーン連帯 大阪アクション」が開催されるなど、全国に取り組みが広がっています。

沖縄県民の民意を無視し、あくまでも辺野古移設を強行する安倍政権に対して、怒りの声を全国から上げていきましょう！ジュゴンの澄む自然豊かな沖縄の海に基地は作らせない！

（首都圏 三村昭彦）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



沖縄セルラースタジアムの県民大会（4面）



県民大会と同じ日に、今年も元気にジュゴンでトレインやりました！（6面）

情勢

「辺野古大浦湾～埋め立て着工めど立たず」

「夏にも埋め立て着工する」、海底ボーリング調査の再延長を明らかにした中谷防衛大臣の発言(3月31日)ですが、未だに6月末調査完了の目途すら立っていません。それどころか、サンゴ破壊に関する現地調査(5月11日から)を求める沖縄県に、米軍や沖縄防衛局は対応せざるを得なくなっています。結果次第で、沖縄防衛局はボーリング調査中止に追い込まれる状況にもあるのです。先行埋め立てをねらった仮設栈橋工事も「絶対必要なものではない」(防衛省4月17日SDCC交渉)と着手できてはいません。辺野古現地とむすんだ全国的な闘いが本土の世論を変えています。共同通信の全国電話世論調査(4月29日、30日)では「海底作業を継続する政府方針を評価しない」は45.68%、「評価する」は40.1%と本土での批判が多数になってきています。

7月にも翁長知事は「埋め立て承認の取り消しか撤回」の判断を下します。安倍内閣が「唯一の解決策」と辺野古新基地建設をگری押しする中で、翁長県政を支える世論の広がりをつくることが重要です。

私たちは「沖縄防衛局は埋め立て承認書の留意事項を実行していない」(＝環境保全の担保としてある環境監視等委員会が機能を果たしていない)と、埋め立て承認の取り消しを沖縄県に求めてきました。事実、東清二・環境監視等委員会副委員長が3月上旬に辞意を表明しました。そして、松田裕之委員(横浜国大)は自らのブログ「公開書簡」(4月11日付)で、「4/9 防衛省監視等委員会 地元紙と全国紙では真逆の報道」「地元紙では監視委員会が防衛局を批判したという内容がはっきり書かれています。…しかし、全国紙(朝日)はそうは読めないでしょう」と沖縄防衛局の事業の進め方に委員から批判が上がっていることを紹介しています。埋め立て承認の留意事項の肝は環境保全です。ボーリング調査が終わり実施設計に入る段階で、沖縄防衛局は環境保全をめぐる沖縄県協議が必要です。沖縄県との合意と決裁手続きを経ないで、埋め立て着工に入ることではできません(昨年1月20日SDCC・県交渉確認)。ここ数カ月が正念場です。5月17日に3万人規模の県民大会(那覇市セルラースタジアム)が、5月24日に国会包囲行動が、25～26日に沖縄からの上京行動が、

コラム

＜戦争する国日本へ～日米首脳会談＞

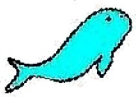
4月28日、安倍首相はオバマ米大統領との会談で、米軍普天間飛行場の辺野古移設を推進することで合意しました。沖縄県民の意思を無視するものです。前日の27日、日米の外務・防衛閣僚による安全保障協議委員会(2プラス2)では、防衛協力の指針(ガイドライン)を改定しました。弾薬提供や戦闘機への給油など戦地で活動する米軍の後方支援を大幅に拡大するものです。これは「専守防衛」を完全に踏み越えるもので、条約の改正・国会での批准が必要なものです。共同通信の世論調査(4月29、30日)では、新防衛協力指針反対は47.9%と、賛成35.5%を10%以上も上回っています。

のみならず、安倍首相は米連邦議会の上下院合同会議で、集団自衛権行使を可能とする安全保障関連法案に関して「この夏までに成就させます」と約束しました。法案提出前にもかかわらず、このような発言を他国の議会で発言することははなはだしい国会無視で、許さ

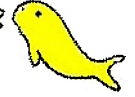
れるものではありません。戦争する国への道を一目散に走っているのです。このことから、辺野古移設に固執する安倍首相の意図は透けて見えてきます。沖縄県民とむすんで本土での運動がより重要になってきています。
(事務局 蛭川義典)



4/17 翁長知事と安倍首相の初会談。首相官邸前緊急アクションに参加しました。



＜沖繩防衛局に環境保全義務を求める文書指導を＞



～5/18 沖繩防衛局、5/19 沖繩県交渉～

5月18日に沖繩防衛局、19日に沖繩県と交渉しました。4月17日の政府交渉をふまえたものです。翁長知事の訪米(27日)を前にした沖繩県交渉では、翁長知事の訪米の意義をより高めるためにも、沖繩防衛局による強引な埋め立て工事に対して沖繩県が厳しい態度を明らかにすべきであることを求め、前向きに検討することを確認しました。また、名護市議会では5月14日、「環境監視等委員会の透明性を確保し、辺野古・大浦湾の現地調査を行い名護市議会への説明を要請する意見書」が採択され、私たちの闘いに大きな励ましとなりました。以下、一連の交渉で明らかになったことを報告します。

1. 今年の3月末に延期された海底ボーリング調査は、現地での闘いで大きく遅れ、6月末完了のめどすら立っていません。残り12本のうち3本が終わり、まだ9本が残っています。沖繩防衛局はボーリング調査が終了しても、着工前に実施設計について沖繩県と協議しなければなりません。沖繩県はこの協議でさまざまな懸案事項を議論することで、着工の引き伸ばしを考えています。

2. 仮設栈橋はボーリング調査のための資材の積み下ろし、船舶の係累を目的にしています。現在行われているスパット台船と起重機による海底ボーリング調査では仮設栈橋を必要としないので、環境破壊の仮設栈橋設置の中止を沖繩防衛局に申し入れました。

3. 環境監視等委員会で東副委員長の辞意表明や「丁寧な工事を」求める批判的な意見が出され、過去4回の環境監視等委員会では「ジュゴン保護や海草藻場の保全や移植」が議題にないことなど承認書の留意事項の環境保全を無視している沖繩防衛局に沖繩県が文書で指導することを要請。前向きに検討するとの回答を受けました。岩礁破碎による海底ボーリング調査の中止を求める沖繩県の独自調査についてもNGOなどの資料を活用して判断することを強く求めました。

4. ジュゴン訴訟について、国家歴史保存法の「考慮ある手続き」にもとづき、沖繩県は「ジュゴンと琉球」などについて米国防総省や米連邦裁判所に意見を提出することを検討することを確認しました。できれば、翁長知事の訪米時に準備することが望ましいこと



5/18 沖繩防衛局交渉



5/18 シュワブゲート前抗議行動

じゅごん茶話会

毎月1～2回、ぼちぼち続けている“じゅごん茶話会”お茶やお菓子でゆったりと、おしゃべりしています。
6/25(木) 14時～、7/16(木) 14時～ひらきます。
★7月は、特別バージョン、ちょっと三線を弾いてみよう♪です。
初めての方も大歓迎、どうぞ遊びに来てください。
その他、最近の様々なことを話したり、折り紙を折ったり、マスコット作りをしたり、DVDをみたりしています。



沖 縄

戦後70年止めよう辺野古新基地建設！沖縄県民大会

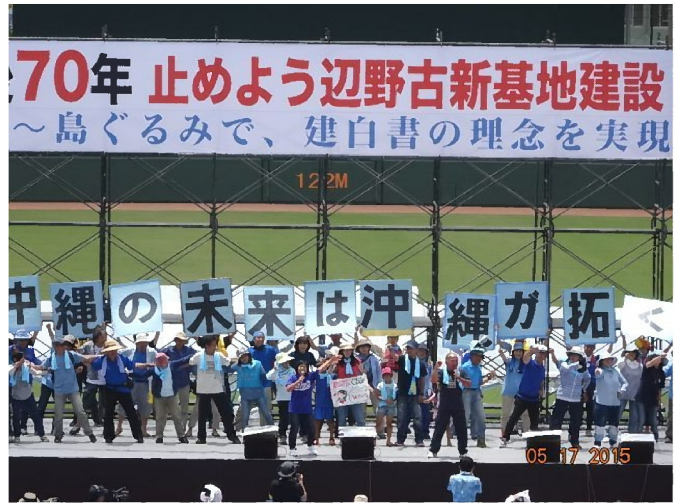
～県民の尊厳と誇りをかけ揺るぎない意思が結集！～

キャンプシュワブゲート前の座り込み闘争のリーダー山城博治平和運動センター議長が闘病生活に入り、やがてひと月になろうとしている。この間ゲート前のたたかいはヒロジと共に担ってきた各団体、市民、スタッフがさらに結束を固め協力し合い、また、多くの県民市民もそして全国の仲間もこれまでに増して現場に駆け付けゲート前を守っている。

この間ゲート前の合言葉は「5. 17県民大会の大成功を！」であり、その思いは各市町村での島ぐるみ会議等各地域組織の発足となって結実してきた。

すでに地域組織は、読谷村の村民会議をはじめとして宜野湾市、北谷町、沖縄市、うるま市、金武町等々10数地域で発足し、5. 15には私の地元本部町においても「本部町島ぐるみ会議」が立ち上がった。今後さらに那覇、名護市、今帰仁村等でも予定されておりその数30に上るだろうと言われている。

わが本部町での結成総会。呼びかけ人があいさつの中で示した言葉「建白書の実現、辺野古新基地建設阻止。今や単に声をあげるだけの時ではない。行動する時。身をもって阻止する時。そのための本部町島ぐるみ会議だ・・・」。辺野古新基地建設阻止に向けオール沖縄の取り組みを通じて、知事選、衆院選等完勝してきた。民意を無視する安倍政権に対して翁長知事は腹をくくって決然と立ち向かっている。次は知事を押し出した県民がさらに腹をくくって阻止するための行動を身を持



って示す時だ。弾圧し、強行すればいずれ沖縄の民意も諦めるだろうと言う政府の思惑は見事に外れた。

5.15 県内各地域からそして全国から結集し、セルラースタジアムの内外を埋め尽くした人々その数は40000人を超えるだろう。翁長知事は壇上で政府の「辺野古反対＝普天間固定化」論を政治の墮落だと一喝し、辺野古新基地の建設を阻止することが普天間を唯一解決する政策であると高らかに宣言した。「ウチナンチュ、ウシェーティナイピランドー（沖縄の人をないがしろにしていけない）」との言葉に会場は総立ちとなり、あらしのような拍手は鳴りやまなかった。沖縄の未来は沖縄が決める。『反転攻勢』に打って出た歴史的瞬間に立ち会った。（沖縄 高垣喜三）



稲嶺市長



翁長知事



伊江島の謝花悦子さんもジュゴン帽で参加



会場は総立ち。あらしのような拍手が湧き起こりました

大阪

いのちがだいじ ちゃんぶるウォーク

5月17日、3万5千人の沖縄県民大会につながって、大阪で「いのちが大事 ちゃんぶるウォーク

～沖縄県民とともに辺野古新基地をとめよう～」を行いました。SDCCも呼びかけ団体になっている、Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクションの主催です。

集会は牧志徳さんの三線島唄ライブでスタート。みんなで「辺野古崎 前に見て」を歌いました。さらに新たに大阪アクションの呼びかけ団体になった「基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会」の方や学生さんなどからアピールがありました。「めざす会」の方は、「私は宮古島出身。平和憲法の日本に復帰したはずだったが、その日本が安保に支配される国だった。力を合わせて変えましょう」と語られました。学生さんは「おかしいと思うことがたくさんある。辺野古もそう。戦争は私たち若者自身に降りかかる問題」と発言しました。

集会後は難波まで300名でデモ。「辺野古の海を未来へつなごう」「ジュゴンの海をみんなで守ろう」「辺野古新基地建設 絶対反対」のコールが、御堂筋に響きました。コールのリズムに合わせて、歩道で体を動かす若者もいました。「いのちが大事」のメッセージが、道行く人にきっと届いたと思います。

(関西 松島洋介)



ジュゴンもウォーク★



牧志徳さんの歌三線で一気に盛り上がりました。



緑が鮮やか! 初夏の陽気の御堂筋をパレード♪

東京

沖縄・辺野古に基地はいらない! 4・26渋谷サウンドパレード

4月26日(日)渋谷サウンドパレードが、5・24国会包囲ヒューマンチェーンに先駆けて行われました。宮下公園に、ギター、トランペット、ドラム、太鼓などの楽器や幟旗、バナーを持参して1000人(主催者発表)が集まりました。



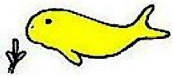
主催者挨拶の後、名護市出身者から「沖縄だけの問題でない。東京での運動が大事」、辺野古リレーのメンバーから「辺野古に行ってほしい。見たことを皆に伝えてほしい」と訴えました。「翁長沖縄県知事と共に辺野古埋立て阻止」を訴え、「新基地建設反対」「ジュゴンを守れ」などジュブレヒコールをし、ブラスバンドやエイサー、持参した楽器の演奏などで、音楽が響き渡り、沿道の人たちの目を引

きました。日曜日の人通りの多い渋谷の街を練り歩き、思いっきりアピールしました。手を振ってくれる人、応援しているよ、と言ってくれる人など、反応は上々で、以前より関心の高さを感じました。1000人のパレードは賑やかで壮観でした。

「新基地建設反対」「ジュゴンの海を壊すな」の声を大きくして、辺野古新基地建設を撤回させましょう!!
(首都圏 矢敷克子)



報告



ジュゴンでトレイン 今年もやりました!

5月17日、今年も主催行事であり毎年恒例となっている、ジュゴンでトレインを開催しました。今年は他の行事と重なり午前中の開催。いつもやっている午後とは違い、駅を利用する人の交通量が随分違ってました。

梅田駅周辺はデパートの工事があり、いつも行っている陸橋もそれに合わせたように工事があり、人の往来が少なく活気がありませんでした。来年には陸橋の工事は終わっているでしょうが、デパートの工事は続くようで、梅田駅周辺の場所の選定も考慮しないといけないかなと思いました。

しかも、京橋駅前はいつも活気のある場所なんです、

ここさえも午前中は、乗り継ぎなどで先を急ぐ人が多く見受けられ、立ち止まってくれる人の数もいつもより少なく感じました。

それに引き換え、天王寺駅前には相変わらず若者が多く、立ち止まってくれる人も多く、活気が溢れていました。この場所はやはり重要拠点！来年からは時間配分などを再考する必要があると思いました。

ジュゴンでトレインは、関西スタッフがメインでやっていますが、全国どこでも誰とでも参加してもらえるように企画しています。来年は皆様のお近くでもやってみてください。
(関西 上田千鶴)



咲け、月桃の花! ~ころむ・ころム~

今年は、映画「GAMA-月桃の花」製作から20年。4月19日と26日に、南風原文化センター主催で上映会を行った。両日とも、来場してくれた人々は35ミリの無傷の大画面に驚き、改めてこの映画の価値を称賛してくれた。フィルムをニュープリント同様メンテナンスしているためだが、その努力があって、全国の中学校高等学校からの上映申し込みが、今も続いている。しかも今年は安倍政権の企みと闘う年。上映運動には一層の努力が必要である。幸い郷里平安座島でも、8月15日の終戦記念日に上映することが決まった。

その平安座島恒例の龍宮祭が、旧3月3日(4月21日)に始まった。私と妻は朝のうちに島に行き、龍宮神の祠を参拜。ごちそうの果物を供えて、辺野古の闘いの勝利を誓い、祈った。そして翌22日の「トゥタヌイユ」の儀式にも神人として参加。その様子がNHK沖縄放送局の夕方と翌朝のニュースで流れたという。しかし、自分では見ていない。

そして今年の4.28は雨の中を沖縄県庁前広場に結集。その辺野古新基地建設反対県民集会に2500人が拳を突き上げ、「屈辱の日」の怒りを叫んだ。しかし、「屈辱」は政治行政的な差別に対する怒りであると同時に、戦前の神国日本に呪縛された者が言うこと。私にすれば、4.28は龍宮神信仰の解放された日である。

そうこうしているうちに日米首脳会談は終わり、ゴールデンウィークに浮かれる5月5日には、明治日本の産業革命時の23施設を世界遺産に登録するようい

コムスがユネスコに勧告。明治国家を美化する為に安倍の仕掛けたこの動きと、辺野古は連動している。もうそろそろ琉球処分の屈辱を倍返し、打って返し以上の逆転の一石を投げねばなるまいと考えるのである。

5月17日、セルラースタジアムでの県民大会で「月桃」を歌うことになった。また6月22日の午前1時からNHKラジオ深夜便で語ることになったが、果たして月桃は咲いてくれるかどうか…。

海勢頭豊(うみせど ゆたか:SDCC 共同代表)



① わんさか通信 ★ ジュゴンの②

「奪うなジュゴンの海を」 糸満市在住 S氏 80才

1 ジュゴンの海が 海の幸が逝くよ
 辺野古はどこへ逝く
 神の海はどこへ逝く
 守り育ててきたのは 辺野古の民よ



2 大浦湾の ゆたかな海はどうなるの
 サンゴは死滅する
 魚もいなくなる
 ハイテクパワーの戦争基地化 許せるものではない!
 ハーレ ハレハレ ハーレ ハレハレ
 ハーレ ハレハレ ハレハレハレハレ



※ ハーレ ハレハレは、魔物は遠くへ、地球の外へ飛び去って行け! という意味

作曲活動をしてきたS氏は自作の歌をもって「80歳の老齢にはきつい」といいながら

それでも辺野古キャンプシュワブ前へ、バスで二時間半かけ定期的に声をあげている。(沖縄 小平)



第15回SDCC総会報告

4月17日、第15回総会が東京の品川にて行われ、26人の参加がありました。

総会の中で、国際担当の吉川さんが、ジュゴン訴訟について概要や勝訴後の動きなどを説明しました。2008年に、辺野古の基地建設ではジュゴンへの影響を考慮する手続きを行うという判決が下されたにもかかわらず、今年2月に被告である米国国防総省は考慮する手続きはすでにとられたと主張し、裁判所もその主張を受け入れたそうです。昨年の総会で、国際的な取り組みとしてのジュゴン訴訟の再開が一つの重要なポイントであり、SDCCも協力していく方針がうちだされていただけに、その結果にショックな人も多いようでした。残念な内容でしたが、わかりやすく話を聞いたことで、このことも含め、たくさんの人に伝え、おかしいと声をあげる力にしたいと思いました。

昨年度は、辺野古現地での活動や、東京も大阪もたくさんの人とつながって、共同行動で活動を広げました。今年度も沖縄の動きと共に、各地での共同行動で、豊かで楽しい活動を広げていく方針です。大変な時期ではありますが、明るく前向きに活動していきたいと思えた総会でした。
(関西 正阿爾(しょうあみ))



<東京> 《 今後のスケジュール 》

- ・6/21(日) 風人の祭 12時～18時 上野水上音楽堂
 - ・7/11(土) 宮森・630を伝える会 13時～17時
明治学院大学 白金校舎2号館B1階 2101教室
- <大阪>
- ・6/5(金) 島ぐるみ会議 全国キャラバン in 大阪
18:30～ エルおおさか南館ホール
 - ・6/6 ロックアクション シンポジウム
18:30～ エルおおさか研修室2

6月14日「GAMA一月桃の花」上映会&平和のつどいを開催します！！

会場：ドーンセンター1階パフォーマンススペース
10時開場 2回上映(10時半～、14時～)

※チラシ持参で前売扱い(1000円)となります

数年前、初めて沖縄戦の実相を描いたこの映画を観たとき、胸が詰まりました。そして、いつか上映会をしたいと思っていました。それは“希望”も感じたから、映画に込められた『命どう宝』の思いを広めたいと思ったから。「二度と戦争はごめん」と辺野古ではおじい、おばあが座り込んでいます。ジュゴンの棲む海が壊されようとしています。戦争ができる国へ変わろうとする日本を、今止めなければ大変なことになるでしょう。今こそ…。実行委員会を立ち上げて準備を進めています。未来に平和をつなぐ企画とし、映画上映だけでなく平和のつどいとししました。三線ライブ、ブース出店、オープニングはEイサーで！チラシを同封しています(関西圏のみ)。どうぞ友人・知人をお誘いの上ご参加ください。

上映会成功に向けてご協力を
よろしくお願いします。

(関西 池側恵美子)

～あの沖縄戦で生き残った多くの人が
戦火の中で見かけた月桃の花は…
それは祈りの花でもあるのです～



※第10回じゅごんの里ツアー(沖縄)

今年も、辺野古現地を訪れるスタディツアーを開催します。基地建設の現状を知り、辺野古・大浦湾の自然に触れ、地元の方々と交流します。

日程：7月3日(金)～5日(日)※費用はSDCC会費込み

ツアー費用 関西発着 75000円(予定)

東京発着 80000円(予定)

※費用内訳：飛行機・宿泊2泊・船・ガイド料・レンタカー・食事代(1日目の夕食～3日目の昼食まで)

※申し込み締め切り 6/10(水) 現地参加6/23(火)

※詳細は下記事務局までお問い合わせください。

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.80 2015年5月26日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務局まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！